

<p>1. 単元目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで、夏休みの思い出について伝え合おうとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度) ・夏休みに行った場所や食べ物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。また夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ) ・英語の書き方の規則に気付く。(言語や文化に関する気付き)
--

<p>2. 言語材料</p> <p>○I went to (my grandparen's house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream). It was (fun / exciting / beautiful / delicious).</p> <p>○grandparent, vacation, zoo, 動詞の過去形(went, ate, saw, enjoyed, was), 自然(beach, mountain, sea, lake,), 動作(hiking, camping, fishing)</p>

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。	
4分	<p>○Small Talk 話題:夏休みの思い出(行った場所・食べた物・感想)</p> <p>◎Small Talk 話題:夏休みの思い出(行った場所・食べた物・感想)【例】</p> <p>T: I went to Okinawa. I ate mimiga! It was OK. S1: Mimiga? T: Pig's ear. S2: Pig's ear? T: Yes. How about you, S2? S2: I went to school camp. I ate curry & rice. It was delicious! T: That's nice!</p> <p style="text-align: center;">食べた物や楽しんだことと感想を伝え合おう。</p>	<p>※Small Talkの指導の具体例や発話例については、「授業研究の視点⑤Small Talk(p.81-82)」参照</p>	
5分	○Let's Chant: Summer Vacation	・まずチャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10分	○Let's Watch and Think2(p.38)	<p>T: Let's listen to the talk.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本活動では、対話形式で話が展開されるため、Did you～? という未習である過去形の疑問文が使われている。その他にも未習語があるが、その部分にこだわることなく、必要な情報に意識を向けて聞き取らせるようにする。 ・対話は2種類あり、まずEmmaとMark、次にKoseiとEmmaが話している。紙面の表には、Mark, Emma, Koseiの3人の夏休みについて記入する。 ・登場人物である外国の子供の名前が日本にはなじみがないため、聞き取りにくい児童がいることも予想される。そのため、視聴する前に名前を伝えておくなどの支援を必要に応じて行うことが考えられる。 ・本活動で児童が聞く英文が多いため、何を聞き取ればよいかを確認したり、途中で止めたりするなど、聞かせ方の工夫をすることよ。 ・答え合わせをする際に、単に答えを児童に日本語で発表させるのではなく、指導者がMark went to～? He enjoyed～?と児童に英語で答えを続けて言うよう促すことで、本単元で扱う表現を何度も聞かせたり言わせたりするようにする。 	デジタル教材
10分	<p>○マッピングゲーム</p> <p>・食べ物、動物の絵カードと、感想を表す絵カードを合わせる。</p> <p>食べ物 (chocolate, potato chips. Fish, ice cream, watermelon, curry and rice, shaved ice)</p> <p>動作 (hiking, camping, fishing, shopping, dancing, jogging, swimming)</p> <p>感想 (fun, interesting, good, wonderful, great, exciting, delicious)</p>	<p>○マッピングゲーム</p> <p>・ペアで行う。一人が食べ物のカードや動作のカードを、もう一人が感想を表すカードを持ち、ランダムにカードを引いて出す。出たカードを見て、"I ate～(I enjoyed～)." "It was～."と言ひ、2枚のカードがマッチングしたら1ポイントとし、カードをよける。時間内にたくさんマッチングさせたペアの勝ち。(例えば"I enjoyed～."に対して"It was delicious"の場合は0ポイントとするなど、意味が合わない場合はカードを元に戻す。)</p> <p>○仲間探しゲーム</p> <p>・食べ物カードと感想カードで行う。食べ物カードと感想カードの中から好きなカードを1枚ずつ選び、選んだ2枚のカードと同じ2枚のカードを持つ仲間を探す。パターンを変えていったり、動作のカードと感想カードでも同様に行ったりする。</p> <p>○カード・ディスティニー・ゲーム</p> <p>・ペア対抗で行う。動作・食べ物・感想カードを分けて持ち、それぞれ机の上に並べる。指導者が、"I went to(施設・場所名)"というのを聞いて、それに関連するカードがある方が、そのカードを出しながら後に文を続ける。動作ー感想ー食べ物ー感想の順。早くカードがなくなったペアが勝ち。</p> <p>◎食べた物や楽しんだことを表す表現に慣れ親しんでいる。(外国語への慣れ親しみ)<行動観察></p>	絵カード 文部科学省ワークシート (Unit5-4)
10分	○Let's Read and Write	<p>・選んだカードを見て、行った場所と感想を書き写させる。</p> <p>・書いた文をペアで読ませる。</p> <p>◎簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりしている。(外国語への慣れ親しみ)<行動観察・ワークシート></p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード